

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

| | | | |
|---------|----------------------|------------|------------|
| 事業所番号 | 0870700317 | | |
| 法人名 | 有限会社かなくほ薬局 | | |
| 事業所名 | グループホームハーモニー城ノ内 ラッキー | | |
| 所在地 | 茨城県結城市結城8670-2 | | |
| 自己評価作成日 | 平成 29 年 10 月 20 日 | 評価結果市町村受理日 | 平成30年3月15日 |

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

| | |
|----------|---|
| 基本情報リンク先 | http://www.kaijokensaku.mhlw.go.jp/08/index.php?action_kouhyou_detail_2013_022_kan=true&JigyosyoCd=0870700317-00&PrefCd=08&VersionCd=022 |
|----------|---|

【評価機関概要(評価機関記入)】

| | |
|-------|--------------------|
| 評価機関名 | 特定非営利活動法人認知症ケア研究所 |
| 所在地 | 茨城県水戸市酒門町字千束4637-2 |
| 訪問調査日 | 平成29年12月15日 |

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

緑豊かな田園風景でさわやかな空気を満喫でき、筑波山を望むことができる静かで落ち着いた環境である。近隣には運動公園があり、散策の時間を多く持ち、四季折々の木々や草花、近隣の方とのふれあいのできる立地となっている。一方、スーパーやホームセンター、外食チェーン店などまで、車で5～6分で行くことのできる便利な立地でもある。
 建物は空間が広く天井も高く中庭もあり、広々とした住環境で、木造平屋で屋外への出入りも段差なく平易で、安全にも配慮された造りとなっている。
 デイサービス事業所を併設しているため、新年会、納涼祭、歌謡ショーなど、季節の行事は合同で、ご近所の方々もご招待しながら、盛大に楽しめている。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

| |
|--|
| |
|--|

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

| 項目 | 取り組みの成果 ↓該当するものに○印 | 項目 | 取り組みの成果 ↓該当するものに○印 |
|---|---|--|---|
| 56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25) | ○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんど掴んでいない | 63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19) | ○ 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない |
| 57 利用者や職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38) | ○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない | 64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20) | ○ 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない |
| 58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38) | ○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない | 65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4) | ○ 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない |
| 59 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37) | ○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない | 66 職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12) | ○ 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない |
| 60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49) | ○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない | 67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う | ○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない |
| 61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31) | ○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない | 68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う | ○ 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない |
| 62 利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28) | ○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない | | |

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|-------------------|-----|--|---|------|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| I.理念に基づく運営 | | | | | |
| 1 | (1) | ○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている | 事業所と職員が同じ理念を共有し実践している。新職員にはまだ共有・実践できていない。 | | |
| 2 | (2) | ○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している | 自治会に加入しているが、自治会行事に参加する機会は持っていない。一方、施設内の行事においては行事案内を町内老人会に回覧し、来所していただくことで地域との交流をもてるようにしている。 | | |
| 3 | | ○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている | 運営推進会議に出席される町内会会長や家族の方々に日々のケアの話題を通して、認知症の人へのご理解を広めている。また、納涼祭などの行事の時等に実際の介護場面を地域の方々に見ていただいている。 | | |
| 4 | (3) | ○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている | 年6回の運営推進会議において日常の報告、写真などをもとに幅広い意見をいただき、よりよい運営に活かしている。 | | |
| 5 | (4) | ○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる | 運営推進会議に出席していただきご意見やご指導をいただいている。 | | |
| 6 | (5) | ○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる | 身体拘束廃止委員会を定期的を開催し身体拘束をしないケアの実践について話し合う時間を共有しているが、やむを得ず施錠設備を2か所施した。 | | |
| 7 | | ○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃ごされることがないように注意を払い、防止に努めている | 不適切な介護、高齢者虐待について研修を定期的に行い、常に注意を払い防止できるよう努めている。 | | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|-----|--|---|------|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 8 | | ○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している | 今後研修をしていく予定である。 | | |
| 9 | | ○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている | 契約前の事前訪問の際に説明したりしながら十分な理解をしていただくようにしている。改定等については配布物を作成したり説明の機会を作りながらご理解いただくようにしている。 | | |
| 10 | (6) | ○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている | 年に1度の家族会総会の時、また面会にみえた時などにそれぞれの家族より意見や要望をいただき、またアンケートにお答えいただきながらよりよい運営に反映できるようにしている。 | | |
| 11 | (7) | ○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている | 毎週1回のリーダー会議、月1回のセクション会議を定期的で開催し、互いの意見を聞き合いながら、運営に反映させている。 | | |
| 12 | | ○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている | 介護技術のチェックシートで自己評価を行ったり、外部研修後伝達講習を行ったり、やりがいにつながっている。 | | |
| 13 | | ○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている | 外部研修を受けてもらったり、その内容を施設内にて伝達研修してもらったり、その際1分間テストによって理解度を図るなどを行っている。 | | |
| 14 | | ○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている | 結城市地域密着型施設連絡協議会の会議に出席し、意見交換することでサービスの質の向上に役立てている。 | | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----------------------------|-----|--|--|------|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | | | | | |
| 15 | | ○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている | 入居前にご本人の居る場所にかがいがい、本人に面会し、本人の暮らし慣れた場所にて、できるだけ率直な思いに耳を傾けるようにしている。 | | |
| 16 | | ○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている | 主にご利用の申し込みの時や見学に来所された時の、早い段階においてご家族のお気持ちを伺うようにしている。 | | |
| 17 | | ○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている | 居宅のケアマネージャーから知りうる限りの情報をいただき、必要な支援が十分にできるよう対応している。 | | |
| 18 | | ○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている | 支援する側・される側という意識を持たず、互いに協働しながら和やかな生活が出来るよう場面作りや言葉かけに配慮している。 | | |
| 19 | | ○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている | 周年祭・納涼祭・運動会などにご家族を招き、一緒に時間を過ごしていただき、共にご本人を支えていける関係づくりに努めている。 | | |
| 20 | (8) | ○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている | ご家族や知人の方が面会に来られた時にはゆっくりと面談できるよう心配りをしている。 | | |
| 21 | | ○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている | お食事の時の座席に配慮したり役割活動などもスタッフと一緒にいながら、孤立することなく過ごせるよう関わりを大切にしている。 | | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------------------------------------|------|--|--|------|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 22 | | ○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている | 入院で退去された方にも、食思低下の相談に応じたり、自宅に戻られた方へのフォローもしながら通所介護のサービス利用につなげられるよう支援している。 | | |
| Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | | | | | |
| 23 | (9) | ○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している | 日々の会話から各人のご希望にそえるようにし、困難な場合には職員間で検討したり、ご家族と担当者会議を開催してご意見ご要望を伺いながら、ご本人の希望する暮らし方を把握するようにしている。 | | |
| 24 | | ○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている | 居宅ケアマネージャーからの情報、入院していた病院からのサマリー、ご家族からの情報などを職員間で共有し、これまでの暮らし方の把握に努めている。 | | |
| 25 | | ○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている | 毎日の食事や水分の摂取量の記録、申し送り事項、毎月のセクション会議時などに個別に気づいたことを報告し合い現状に見落としがないように把握することに努めている。 | | |
| 26 | (10) | ○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している | セクション会議においてモニタリング表を作成し、皆で意見を出し合いながら、よりよい介護を目指している。また担当者会議の中で得られた情報・意見も取り入れて介護計画を作成するようにしている。 | | |
| 27 | | ○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている | 日々の様子や変化を経過記録に記入し申し送りノート等で共有している。本人の発する言葉や思いを表すつぶやきや行動などをその後のプランの見直しに活かすよう努めている。 | | |
| 28 | | ○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる | 社会参加の一環として外食や買い物、お花見、天気の良い日の散歩などにでかけたり、また、入院された利用者を職員と一緒に見舞ったりするなど、柔軟な支援に取り組んでいる。 | | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|------|---|---|------|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 29 | | ○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している | 地元ボランティアによりフラダンスショー、近隣保育園児との交流、地元のお囃子会観賞など、地元への帰属感を感じながら行事を楽しんでいる。 | | |
| 30 | (11) | ○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している | 月1回協力医による往診があり、細やかな指導助言があり信頼している。今までのかかりつけ医にご家族が対応し継続して受診している利用者も居り、ご希望を尊重している。 | | |
| 31 | | ○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している | 月～土、バイタルサインのチェック・服薬確認・患部の処置など看護師によりほぼ毎日の状況確認がなされ、看護師から介護職員へ急変時の対応への指示や指導などを受けている。 | | |
| 32 | | ○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。 | 入院時はかかりつけ医の指示に従い、ご家族・受け入れ病院と連携がとれるよう努めている。病院関係者との関係を大切にしており、早めの退院につなげられるようにしている。 | | |
| 33 | (12) | ○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる | 看とりの指針を入居契約時に十分説明し同意いただいているかたもいる。終末期のありかたについて話し合い、方針を共有できるよう努めている。 | | |
| 34 | | ○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている | 緊急時の対応についてマニュアルを作成し共通理解を図りながら実践できるよう努めている。ヒヤリハットの報告なども緊急時に備えることができるよう、看護師等から日頃から指導を受けている。 | | |
| 35 | (13) | ○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている | 年2回結城消防署員立ち合いの下、避難訓練を行って、災害時の冷静な正しい対応を常に忘れないように努めている。 | | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----------------------------------|------|--|--|------|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 | | | | | |
| 36 | (14) | ○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている | 特に排泄や入浴時の言葉かけに気を付けて、人格を尊重しながら対応できるよう心掛けている。職員間で気づいたことはセクション会議などにおいて話し合う機会を設けている。 | | |
| 37 | | ○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている | 花見や外食など外出の機会を作り、食べたいもの、買いたいものなどは自分で決めるなど、自己決定の働きかけをしている。 | | |
| 38 | | ○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | 散歩や体操、読書、テレビ、折り紙、音楽、塗り絵、計算問題など一人ひとりの希望やペースに添えるよう、いろいろな機会を用意準備しながら支援している。 | | |
| 39 | | ○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している | 納涼祭にはお化粧したり、外出時は帽子やスカーフをご自分で選んだりして身だしなみに気づいたりおしゃれができるよう支援している。 | | |
| 40 | (15) | ○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている | 食事の形態に配慮しながらも、刻み食が細かすぎることのないように工夫したり、ワゴンを用意し、配膳下膳等、利用者が手伝いしやすいように工夫している。 | | |
| 41 | | ○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている | 食事水分摂取について把握できるように記録し、不足変化が見られる等、問題がありそうな利用者については医師や看護師と連携しながら対応している。 | | |
| 42 | | ○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている | 毎食前に口腔ケア体操、食後の口腔ケアの支援をしえる。義歯の洗浄も確認し、毎日消毒している。 | | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|------|---|--|------|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 43 | (16) | ○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている | 排泄向上委員会を定期的に開催し、尿意便意のサインを把握してトイレ誘導の介助を行っている。 | | |
| 44 | | ○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる | 体操や歩行訓練、水分補給に努め、排泄表を活用しながら看護師と連携し、下剤の内服を個別に対応している。 | | |
| 45 | (17) | ○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている | 安全を第一に職員の都合で時間帯を決めてしまうこともある。拒否が見受けられる方には安心して入浴できる声掛けを工夫して個々に沿って支援している。 | | |
| 46 | | ○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している | 居室で過ごされる時には自由に行っている。照明、ドアの開閉などが気になり、なかなか眠れないなど不安を感じる利用者には安心して休めるよう声掛けをしたりしながら支援している。 | | |
| 47 | | ○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている | それぞれの薬剤情報、お薬手帳をいつでも確認できるようにファイリングしている。日々の服薬については業務日誌に担当者が記入しながら、過誤のないよう支援している。 | | |
| 48 | | ○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている | 洗濯ものたたみ、テーブル拭き、食器の片付けなどの家事の手伝いをしていただきながら、生活歴を生かしつつ張り合いをもてるよう支援している。また、カラオケ、絵画、読書など楽しみながら気分転換を図れる支援をしている。 | | |
| 49 | (18) | ○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している | 天気の良い日には外気浴のため敷地内を散歩している。お花見、外食などの外出への支援もしている。また、ご家族とお墓参り等に出かける利用者もいる。 | | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|------|--|---|------|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 50 | | ○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している | 普段は金銭の所持はしていないが、外出時の買い物などご自分でお金を使用する機会を設けるようにしている。 | | |
| 51 | | ○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている | ご家族あてに年賀状を送ったり、希望があれば、事務所でご自宅に電話もできることになっていて、希望される方には支援している。 | | |
| 52 | (19) | ○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | フロアに季節の花を活けたり、掲示物を取り替えたり、中庭には季節の花が順番に咲くように、生活空間を手入れしている。廊下には書棚やソファを置き、好きな本を選んで読むこともできるよう工夫している。 | | |
| 53 | | ○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている | 畳のスペースがあったり、廊下にはテーブルや椅子を用意したりして、思い思いに時間を過ごせるよう配慮している。 | | |
| 54 | (20) | ○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている | 居室にはご家族の写真を飾ったり、ご自分の作成した作品を飾ったり、自宅からなるべくなじみの深いお品を持ってきていただいて、心地良い居室となるようにしている。 | | |
| 55 | | ○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している | 段差がなく、自然光を採り入れられる建築設計となっている。手すりをつけたり目印を付けたりしてあるので、それらを利用しつつ注意しながら安全でご自分の力を発揮しながら生活できるよう支援している。 | | |